

警城時報

日八廿
編輯兼發行 岡田弘成
印刷所 加納活版所
發行所 警城時報社
一部金貳圓 七月分計
廣告料 一行十二字計五十錢
日刊(日曜祝祭日)五日休刊

交付金の恩典で 後期戸數割半減

平市の處分方法決定

地方財政臨時調整交付金は料軽減に三千圓を割く外大平市に三萬圓交付された部分を一割の戸數割減に旨既報の如くであるが、二充當する事となつた。その十七日その使途について縣結果後期分戸數割減課額四官から指示をうけた結果處萬九千一百一圓五十錢は半減分方法が決定したが、平市となり二萬四千三百五十九では出征軍人世帯に對する圓で濟む事になつた。戸數割並にその子弟の授業

呆れた馬車屋 車諸共賣り飛ばす

女給に遊びあきて 住吉樓で大盡遊び

宮城縣宮城郡七郷村荒井重作長男加藤長吉(一九)假名は同縣互理郡早川村伊藤傳方に雇はれ中家の荷馬車と馬を盗んで濱通りに逃げのび途中馬と荷馬車を百二十圓で賣り飛ばし互理驛から汽車に乗り中村町に下車し女給を連れて平市に來り遊び廻つた揚句女給を歸しな地鎮祭を執行した。二十七日鎌田遊廓住吉樓檜山謙方に登樓大盡遊びをしてゐるうち互理署の手配で平署に捕はれ身柄引取りに來た互理署原刑事に身柄を引渡した。

増築地鎮祭

回春園の

豐岡村縣立回春園は炭礦から五千圓、わかもと本舗から千圓の寄附で増築する事既報の如くであるが、二十日午後二時青柳警察部長土屋衛生課長等臨席し壯麗な地鎮祭を執行した。

漁夫二名 盜竊で奇禍

江名町折戸太清左工門氏所有第一清榮丸乗組員鈴木忠

三十圓國防金

平市軍事後援會、二十圓上平窪青年團、十圓平市聯合會第五分會、十圓國防婦人會第五分會

消防組寄附

平消港から一萬五千本の秋刀目下金華山沖漁場で大活動忽ち間屋筋その他に賣り切漁を續けてゐるが漁場が遠れとなつた。相場はヘンリーので殆んど鹽釜に水揚げとしては比較的安値であるをり石城には姿を現

鈴木氏寄附

市内 算術、日本地理、國語、常湯本區會議員の選挙は十月成岩吉が繰上げられ、今回市に做ひブラックナスが最も適當と選ばれた模様で近く數年生の同樹を植え込む管

鐵管泥を機として 不良古物商一掃

三名槍玉に上る

平水道部の鐵管泥棒市内大見町山野邊利政(二一)は水町横田平藏父子の檢果を機道部の鐵管泥取犯人横田平として平署では市内不良古物の共犯として檢果された物商の徹底的檢査に着手し取調の結果月見町石井館に於て殉難者の慰靈祭をたが、二十六日には内郷村三三(三〇)と共に夏井川河執行し遺族を初め同社重役御所古物商井上精一郎事雀川工事場からトの車輛二並に社員及び従業員多數の兩領(三七)市内長橋町同和百圓分と鐵材三貫匁を盗み參列で式を終つた。午後は久野事金兩錫(二八)同人弟これを横田平藏に賣り飛ばし活動寫真その他により従業者一同の慰安をなした。

入山慰靈祭

湯本 湯本軍二等水兵佐藤七郎君の遺を呈してゐたが二十六日午後九時半頃附近磐越東線列車に飛び込み自殺を遂げた。

今度は青木公丸氏 繰上げて浮び上る

四倉町會議員

四倉町會議員吉田彌十郎氏定員は十八名で今春の改選が此程死去したので次點者には二十名立候補し二名落青木公丸氏が繰上げ當選選したが、當選者小港平次る事になつた。同町の町議郎が違反によつて失格し金

盜竊小使 余罪發覺

江名町折戸太清左工門氏所有第一清榮丸乗組員鈴木忠

サンマのハシリ 相場は案外安値

平市魚市場へ二十七朝鹽以下二十三隻の秋刀魚船は防組員二兩は二十圓を國防金に寄附した。

湯本區議選舉 候補者に警告

湯本區會議員の選挙は十月成岩吉が繰上げられ、今回市に做ひブラックナスが最も適當と選ばれた模様で近く數年生の同樹を植え込む管

戦死者の 遺骨通過

上海方面の戰闘で名譽の戦赤井村西小川字瀧の作農平死を遂げた双葉郡幾世村海澤季吉(七〇)は精神に異常を呈してゐたが二十六日午後九時半頃附近磐越東線列車に飛び込み自殺を遂げた。

精神病者 鐵道自殺

湯本軍二等水兵佐藤七郎君の遺を呈してゐたが二十六日午後九時半頃附近磐越東線列車に飛び込み自殺を遂げた。

平軍事後援會寄附金 月見町の分

△月見町二十圓宛佐藤源吉 根本房治 八圓根本弘 七圓五十錢根本耕一 五圓根本一馬 山崎彦太郎 三圓横山八郎 鈴木勇 志賀國之助 二圓佐藤作三 一圓五十錢猪狩與三郎 二圓高木留之助 一圓上野光 鈴木清人 石山傳作 久田太平 諸橋房吉 二圓山野邊己之松 一圓五十錢國井松治 市内一丁目大河原百枝(四二圓鈴木三五郎 一圓五六)は今年二月病氣中親戚十錢遠藤儀平 一圓横田から預つてゐたプラチナ指

妻と訴ふ

石山傳作 久田太平 諸橋房吉 二圓山野邊己之松 一圓五十錢國井松治 市内一丁目大河原百枝(四二圓鈴木三五郎 一圓五六)は今年二月病氣中親戚十錢遠藤儀平 一圓横田から預つてゐたプラチナ指

市役所前 補裝完成

平市誕生の記念事業として施行された市役所前に於ける平驛貨物ホーム入口から才樋小路に通ずる補裝道路は工費四千九百圓の豫算で本月早々の着工後順調な進捗で漸く完成に近づいたが中間に市四間の車道を置き兩側に二間の歩道を設けた出来榮えは誇るに足るべき體裁で尚ほ街路の植付けを計畫されてゐた同樹は市當局や土木委員に應はしむるのを考へられてゐたが他都市に做ひブラックナスが最も適當と選ばれた模様で近く數年生の同樹を植え込む管

行衛不明

市内堂の前一四柿崎七松さん方に二十六日夜郡山市稻荷町三一小松武夫(五三)が來たが同夜行衛を晦ましたので七松さんから平署に捜索方を願ひ出でた。

魁文堂

藥劑士堀功調劑 よく効く神效水 一服二〇錢

見習工募集

加納活版所 詳細面談

精神病者 鐵道自殺

湯本軍二等水兵佐藤七郎君の遺を呈してゐたが二十六日午後九時半頃附近磐越東線列車に飛び込み自殺を遂げた。

遺骨通過

上海方面の戰闘で名譽の戦赤井村西小川字瀧の作農平死を遂げた双葉郡幾世村海澤季吉(七〇)は精神に異常を呈してゐたが二十六日午後九時半頃附近磐越東線列車に飛び込み自殺を遂げた。

平軍事後援會寄附金 月見町の分

△月見町二十圓宛佐藤源吉 根本房治 八圓根本弘 七圓五十錢根本耕一 五圓根本一馬 山崎彦太郎 三圓横山八郎 鈴木勇 志賀國之助 二圓佐藤作三 一圓五十錢猪狩與三郎 二圓高木留之助 一圓上野光 鈴木清人 石山傳作 久田太平 諸橋房吉 二圓山野邊己之松 一圓五十錢國井松治 市内一丁目大河原百枝(四二圓鈴木三五郎 一圓五六)は今年二月病氣中親戚十錢遠藤儀平 一圓横田から預つてゐたプラチナ指

妻と訴ふ

石山傳作 久田太平 諸橋房吉 二圓山野邊己之松 一圓五十錢國井松治 市内一丁目大河原百枝(四二圓鈴木三五郎 一圓五六)は今年二月病氣中親戚十錢遠藤儀平 一圓横田から預つてゐたプラチナ指

★初秋の気分を 行届いたルーム お出を お待ち致します グリル 珈琲と バッカス 御食事 電話七〇二 女 全部給料制度 品位良き方を認む 集 経験無きも良し

外科
 問 專
 平市南町
上田外科
 電話一三九番
 入院應需

電話 3番です
 藥品百貨と
 寫真機材料の店です
 平市本町二丁目
西村屋藥局

國威奮起...
國民体育向上...
 秋のスポーツ来る!!
 ★野球、庭球用具...特賣
 ★競技、体操用具...特賣
 ★各種運動服、特賣
 △非常時は足元から御用意下さい!
 國防靴、茶利革自製品
 金七圓 訓練用工場靴に
 出征...歓迎迎...の旗
 新型の京都製品の優美な旗
 ウキンドに陳列有ります。
 團旗、校旗、會旗、御注文を...
 出上り一週以内
 京都兒島代理店
 各種自製靴
 運道具
大塚
 平市田町銀座通り
 電話七十七番

診療科目
 一、齒科一般
 補綴科
 小兒齒科
 齒槽膿漏科
 一、口腔外科
 一、レントゲン科
 院長 日本齒科 中野 惠次
 醫學士 西川 誠
 平市田町(松月堂)
 電話五〇九番
 ◇看護婦至急募集

公債・債券・質物一般
三井質店
 平市四丁目
 電話六〇六番

外科一般 レントゲン科
 内臓外科 泌尿器科
北川外科
 平市新川町二七 (諸橋醫院跡)
 醫學博士 北川 芳夫
 醫師 小林 良次
 電話四六四番
 (血液検査毎日) イソデモ 入院出来マス

お惣菜用...つま揚・吉原揚
折詰屋
 平町一丁目
 電話一四一四番

三百年の歴史を有する
消食散
 一名かけの藥
 代理店 丸龜商店
 平市大町
 電話一三三番

和洋銅鐵金物問屋
釜屋商店
 諸橋久太郎
 電話九九番

産婦人科 院長 木村寅次郎
 醫學博士 内木宗八
木村病院
 平市新川町十九
 電話一六四番
 入院隨意 病室完備

油と味の
吉屋
 福島縣平市
 電話(營業部専用)一〇番
 (一般用)二七番
 振替東京一九七五五番
 明治生命 警城代理店 山崎與二郎

暑中休暇をして居りました
 もち飴も又本日から始めました
 不相變御引立を願ひます
北海屋の
もちあめ
 箱入 三十錢ヨリ
 壹圓マデ
 十錢ヨリ四十錢マデ
 各種アスマ
 平市二
北海屋商店
 電話三八八

本校校長正六位矢野泰次郎先
 生本月廿六日午後八時五十分
 逝去致され候間此段謹告仕候
 追而告別式の儀は校葬を以て來る九月三
 十日午後一時より本校に於て佛式により
 相替み可申候
 十二年九月二十八日
福島縣平商業學校校友會
福島縣平商業學校商友會

父矢野泰次郎儀去ル九月二十一日
 發病致シ候處藥石効オク同月二十
 六日午後九時五十分死去致候間生
 前格別ノ御懇情ヲ謝シ旁々御通知
 申上候
 追テ告別式ノ儀ハ校葬ヲ以テ來ル九月三
 十日午後一時ヨリ本校ニ於テ佛式ニ依リ
 相替可申候
 昭和拾貳年九月廿七日
 平市 胡 慶 澤
 親戚 矢野 謙
 代 入 山 野 正
 友 代 青 野 武
 代 前 野 沼 名
 篠 松 崎 沼 名
 山 佐 滿 太
 廉 嘉 藏 郎 彦 吉 介